

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	れっつ中庄		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合った支援を行うことを心掛けている	定期的なアセスメントの実施。 複数のフォーマルアセスメントを取り入れ、幅広く本人を捉えられる仕組みを作っている。	多様な研修を受け、支援の引き出しを増やしていく。幅広いアセスメント結果と併せて、より本人に合った方法での支援を組み立て、実施していく。
2	ご家族との関わりを大切にしている	送迎時に療育の報告を行っている。また、当日中に個別活動・グループ活動それぞれの様子をアプリにてご家族に報告している。 また、家族間の関わり構築のため、茶話会も開催している。	茶話会以外にも、ご家族との関わりを得られるイベントを検討していく。
3	外部講師からのコンサルテーションを受けなどしながら、職員のスキルアップを図っている。	個々に合ったより良い支援を行うために、外部講師のコンサルテーションを受ける事や、積極的に研修への参加を行い、スキルアップを図っている。	ご家族から研修のニーズもあるため、開催に向けてスキルアップを図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSの活用が十分に出来ておらず、周知が不十分である	活動報告など、SNSを通じて情報を発信した際の周知が出来ていない。	連絡帳アプリも活用して情報の発信を行う
2	避難訓練の実施や必要なマニュアルなどの周知が不十分である	情報の発信は行っていたが、周知には至っていなかった。	避難訓練などの実施についてや、マニュアルの存在について知っていただく機会をつくる。 連絡帳アプリを活用して、情報の発信を行う
3	地域の方や子どもたちとの交流の機会が作れていない	地域和学校との併用利用であり、すでに交流のある方も多かったため、設定ができていなかった。	交流の機会が作れるよう、検討をしていく